

見本

安全衛生水準の向上を目指して!!

— 船内労働安全衛生マネジメントシステム導入による
災害の犠牲を未然に防ぐ予防対策型の管理体制の構築 —



平成 21 年 9 月

目 次

はじめに

1. マネジメントシステムとは.....	1
2. 労働安全衛生マネジメントシステムとは.....	1
3. 船内労働安全衛生マネジメントシステムの目的.....	4
4. 船主 / 船舶管理会社にとっての船内労働安全衛生 マネジメントシステム導入の背景及び効果	7
5. 労働安全衛生マネジメントシステムと CSR (Corporate Social Responsibility) - 企業の社会的責任 - との関係 ...	9
6. 他マネジメントシステムとの比較.....	9
7. 船内労働安全衛生マネジメントシステム ガイドラインの位置づけ	1 1
8. 適用.....	1 2
9. 用語の解説.....	1 2
1 0. 船内労働安全衛生マネジメントシステム ガイドラインの要求事項	
1 0 - 1. 船内労働安全衛生方針の表明.....	1 7

10-2. 体制の整備	20
10-3. 船員の意見の反映	21
10-4. リスクアセスメント及びリスク低減処置の実施	22
10-5. 船内労働安全衛生目標の設定	27
10-6. 船内労働安全衛生計画の作成	30
10-7. 文書作成・管理	32
10-8. 船内労働安全衛生計画の実施等	33
10-9. 緊急事態への対応	33
10-10. 船員災害発生原因の調査等	34
10-11. 船内労働安全衛生計画の実施 状況等の点検・改善	35
10-12. システム監査	35
10-13. 記録	38
10-14. 船内労働安全衛生マネジメントシステムの見直し	38
10-15. 継続的改善	41

おわりに

1. マネジメントシステムとは

マネジメントとは“組織を指揮し、管理するための調整された活動”であり、システムとは“多くの構成要素が集まって一つの組織体を形成し、ある目的の仕事を果たす機能”を指します。そしてマネジメントシステムとは“方針及び目標を定め、その目標を達成するためのシステム”と言われています。

組織として目標を達成するためには、経営者の指示がトップから末端まで行き渡り、各セクションには十分な経営資源（人・物・金）が準備され、且つ適切に運用されなければなりません。更に一度達成したことをそれで終わりとしなくていつも最新なものとして実行されていることを維持していくために日々の改善が必要となってきます。

人が集まって業務を行うとそこに業務分担が生まれ、次第にチーム・課・部へと組織の体制が作られていくに従い、それを管理する業務が必要となり、組織の目標を効果的に達成するための方法・手段を活用しなければならなりません。“方針と目標を定め、その目標を達成するため”――組織としての有言実行――にはいろんな工夫・仕組みや枠組みが必要であり、その工夫・仕組みや枠組みのことをマネジメントシステムと言います。



2. 労働安全衛生マネジメントシステムとは

前項のマネジメントシステムの説明に労働安全衛生をプラスしたものが労働安全衛生マネジメントシステムです。従って“職場における安全と衛生に関して、方針と目標を定め、その目標を達成するためのシステム”です。マネジメントには管理という意味の他にも経営という意味もあり、経営と一体となった一つの管理ツール・技術のことを言います。

反対に目標・目標達成のための計画のない体制はシステムとは呼べず、仮に無災害であってもそのための施策が明確でないため、何を実施して無災害であったのか述べることができず、ただ偶然の結果として幸運にも無災害であったとしか言えません。

そして当然のことながらこの管理ツール・技術を一体となった活動とするためには組織全体の協力が必要であり、労働安全衛生を組織を挙げての全社活動にしなければ事故低減の効果は望めません。誰かの犠牲の上に成り立つ再発防止対策型の体制から